

シュアポスト錠 0.25mg、シュアポスト錠 0.5mg

【この薬は？】

販売名	シュアポスト錠 0.25mg (Surepost Tablets 0.25mg)	シュアポスト錠 0.5mg (Surepost Tablets 0.5mg)
一般名	レパグリニド Repaglinide	
含有量 (1錠中)	0.25mg	0.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、速効型インスリン分泌促進薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、すい臓に作用しインスリン分泌を促進して、血糖（血液中の糖分）を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

2型糖尿病

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重いケトアシシス状態（意識がなくなる、深く大きい呼吸、手のふるえ）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・過去にシュアポスト錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝臓に障害のある人
- ・腎臓に重い障害のある人
- ・インスリン製剤を使用している人
- ・虚血性心疾患の人
- ・脳下垂体機能に異常がある人、副腎機能に異常がある人
- ・下痢、嘔吐（おうと）などの胃腸障害のある人
- ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
- ・激しい筋肉運動をしている人
- ・飲酒量が多い人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		シュアポスト錠 0.25mg	シュアポスト錠 0.5mg
1 回量	開始量	1 錠	1/2 錠
	維持量	1～2 錠	1/2～1 錠
	最大量	4 錠	2 錠
飲む回数		1 日 3 回毎食直前	

効果的に血糖上昇を抑えるため、毎食直前 10 分以内に飲んでください。

この薬は使用後速やかに効果があらわれますので、食前 30 分以上前の使用では、食事開始前に低血糖をおこす可能性があります。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。(低血糖を起こすことがあります)
指示された時間に飲み忘れたら、1回とぼして次の指示された時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・低血糖症状(めまい、ふらつき、手足のふるえ、空腹感、冷や汗、意識が薄れるなど)があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。
低血糖症状があらわれた場合は、通常は砂糖を飲んでください。
 α -グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース、ミグリトール)を併用している場合は、砂糖ではなくブドウ糖を飲んでください。
この薬を使用するにあたっては、患者およびそのご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・使用後数時間は、低血糖を起こすことがあります。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2~3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・不養生や感染症の合併などにより薬が十分に効かなくなることがあります。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

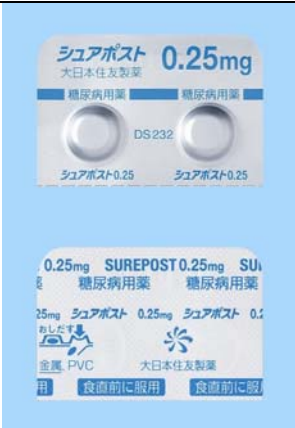

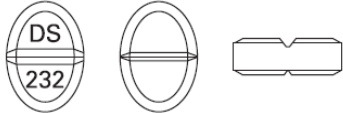
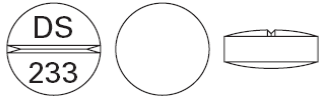
特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	めまい、ふらつき、手足のふるえ、空腹感、冷や汗、意識が薄れる、脱力感、頭痛、動悸(どうき)
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
心筋梗塞 しんきんこうそく	冷や汗、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、脱力感、冷や汗、からだがだるい
頭部	めまい、頭痛、意識が薄れる
眼	白目が黄色くなる
口やのど	吐き気、嘔吐
胸部	動悸、吐き気、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい
腹部	空腹感、食欲不振、吐き気
手・足	手足のふるえ
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	シュアポスト錠 0.25mg	シュアポスト錠 0.5mg
PTPシート		
形状	だ円形の割線入りの錠剤 	円形の割線入りの錠剤 
径	短径 5.0mm、長径 7.0mm	直径 6.0mm
厚さ	2.3mm	2.5mm
重さ	95mg	95mg
色	淡赤色	白色
識別コード	DS232	DS233

【この薬に含まれているのは？】

販売名	シュアポスト錠 0.25mg	シュアポスト錠 0.5mg
有効成分	レパグリニド	
添加物	結晶セルロース、無水リン酸水素カルシウム、トウモロコシデンプン、ポラクリリンカリウム、ポビドン、ポリオキシエチレン (160) ポリオキシプロピレン (30) グリコール、メグルミン、グリセリン、三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム	結晶セルロース、無水リン酸水素カルシウム、トウモロコシデンプン、ポラクリリンカリウム、ポビドン、ポリオキシエチレン (160) ポリオキシプロピレン (30) グリコール、メグルミン、グリセリン、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社

(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

電話番号：0120-885-736

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)